



■ 講座内容について

第1講座	幼稚園・保育園・認定こども園事業者がいま参入すべき「障がい福祉業界」の動向 株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 藤光 孝法 支援が必要なお子様のニーズも増加し、事業所数が急増している児童発達支援・放課後等デイサービス業界。その現状を解説いたします。	
第2講座	特別ゲスト講座 ゲスト講師 株式会社 LaLaLand 代表取締役 井上 芙美 氏 保育事業から児童発達支援・放課後等デイサービスへの新規参入を果たし、独自コンセプトの展開に成功している株式会社LaLaLand の成功事例をご紹介します!現場の療育動画とともに解説いたします。	
第3講座	開所から運営まで、『こども幼保×障がい福祉』で成功する方法を解説! 株式会社船井総合研究所 子育て支援部 俣野 健太 障がい児支援を成功するために何が必要か。事業立ち上げの方法とその成功のポイントを解説いたします。	
第4講座	本日のまとめ 株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 藤光 孝法 本日の講座を踏まえて、皆さまにこれから取り組んでいただきたいこと、考えていただきたいことについてお話しいたします。	

■ 開催日時について

全日オンラインでの開催です! ※各回、同じ内容です。ご都合のよい日時をお選びください。

開催日時 2025年8月27日(水)・29日(金)・9月2日(火)

開催時間:13:00~16:00(ログイン開始:開始時間30分前~)

申込期限 ■銀行振込み…開催日6日前まで ■クレジットカード…開催日4日前まで ※祝日や連休により変動する場合もございます

金額

■ 一般価格(1名様)	■ 会員価格(1名様)
税込 33,000 円(税込30,000円)	税込 26,400 円(税込24,000円)

※会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へ ご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

セミナー参加者特典!無料経営相談のご案内

セミナー終了後、質問や疑問点などに対して個別にお時間を設定させていただきます。
今後の事業展開に向けた具体的な内容もその場でお答えさせていただきます!是非お申込みください。



実際の療育現場が見られる!分かる!

児童発達支援 放課後等デイサービス 新規参入 オンラインセミナー



株式会社Lalaland
代表取締役 井上 芙美氏

特別ゲストが実際に実現した4つの事例をご紹介します

- 定員10名で利用者30名以上!
- キャンセル待ち多数
- 開業わずか4か月で売上250万円/月達成!
- 保育業界から続々と参入!



開催日時

2025年8月27日(水)・29日(金)・9月2日(火)

開催時間:13:00~16:00(ログイン開始:開始時間30分前~)

※講座内容は同じです。
ご都合のよい日時を選んでいただきお申込みください。

児童発達支援・放課後等デイサービス新規参入セミナー

お問い合わせ No.
S131106

主催



サステナブルな成長を促す。 Funai Soken

株式会社船井総合研究所

〒541-0041 大阪市中央区北浜 4-4-10 船井総研大阪本社ビル

当社ホームページからお申込みいただけます。

(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に [お問い合わせ No.] を入力してください)

131106



お申し込み方法

右記の QR コードを読み込み、お申込みください!

または船井総研ホームページ (www.funaisoken.co.jp) にある右上の検索窓に『131106』を入力、検索ください。

お申込み HP URL <https://www.funaisoken.co.jp/seminar/131106>

お問い合わせ

船井総研セミナー事務局

E-mail seminar271@funaisoken.co.jp

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。

※お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」と検索しご確認ください。

TEL : 0120-964-000 (平日 9:30 ~ 17 : 30)



少子化 × 園児減少 × 職員不足

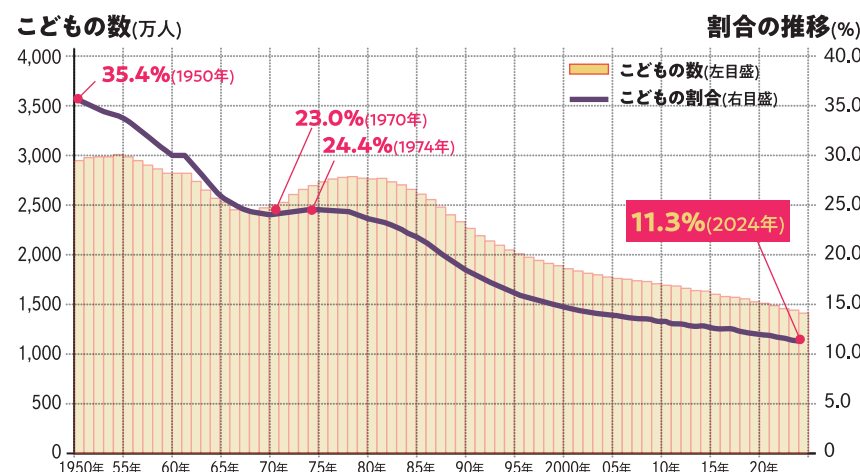
保育園経営が「持続困難」になる前に、取るべき選択とは

少子化が43年連続で進行。地方園は定員割れ、都市部でも採用難

現在、我が国では少子化が深刻なスピードで進行しています。総務省の調査によると、2024年4月時点での15歳未満のこどもの数は 前年比33万人減の1401万人。これは1982年から43年連続の減少であり、ついに過去最少を更新しました。この影響を最も強く受けているのが、地域に根ざした保育施設です。特に地方部では定員割れや統廃合の危機に直面している園も増加しており、持続可能な運営が難しくなっているケースも少なくありません。

一方、都市部においては定員は満たせても職員不足が深刻化しています。保育士の確保が難しく、採用活動に追われる日々の中で、「このままでは経営の土台が揺らぐのでは」という危機感を抱く園も増えています。

こどもの数及び割合の推移



資料:「国勢調査」及び「人口推計」
(注) 2023年及び2024年は4月1日現在、その他は10月1日現在

「発達特性のある園児への支援」が既存職員だけでは難しくなっている

もう一つ見過ごせないのが、発達特性や支援ニーズの高い園児の増加です。現場の先生方からも、「クラス運営と並行して支援ができない」「専門的対応が難しい」といった声が多数上がっています。実際、保育園・こども園の先生たちは、日々の業務に加えて多様な家庭背景・個別の特性をもつ子どもたちへの対応を強いられており、現場の疲弊や離職にもつながる課題となりつつあります。

国の制度が整い始めた今、福祉分野への参入が注目されている

そうした中で今、注目を集めているのが「児童発達支援」や「放課後等デイサービス」など、発達特性のある子どもへの専門的支援を提供する福祉事業です。これらの事業は近年、国の方針として制度が整備され、事業所運営に対する給付制度や指導監督基準も明確化されてきました。また、0～6歳の未就学児を対象とする児童発達支援は、保育園とも接続しやすい領域であることから、「園の中に新たな機能を設ける」という発想で導入を検討する事業者も増加傾向にあります。



ただし“福祉事業は難しい”と感じて踏み出せない園も多い

一方で、「福祉事業には専門的な知識や資格が必要なのでは」「開業手続きや運営ノウハウが全く分からない」といった不安やハードルから、一步を踏み出せずにいる事業者が多いのも実情です。また、保育士と福祉職員の違いや、職員確保、収益性の見通しなど、既存園の経営者にとっては未知の分野であることも、「関心はあるが踏み切れない」要因になっています。だからこそ今、同じ保育事業者として、ゼロから福祉事業に参入し、成功を収めている法人の実例を知ることが、最初の大きな一歩となります。

成功事例企業のご紹介

保育事業から参入後、定員10名の施設で
わずか4ヵ月で利用者30名超!キャンセル待ち多数!

株式会社LaLaLandの 成功の秘訣を徹底解説!

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所 アトリエGiftのご紹介

事業内容

神奈川県横須賀市で、保育・学童機能付きの営業教育を実践。身体機能や認知機能の基礎が構築される「ゴールデンエイジ」といわれる年代の教育のほか、保育園と学童の一体化、一貫教育をめざす。

DETAILS



これまでの事業展開

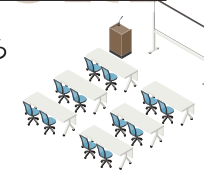
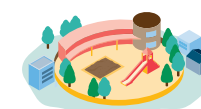
2013年 神奈川県横須賀市でバイリンガルスクールを立ち上げる。利用者3名の状態からスタート。

2015年 バイリンガルスクールの2施設目をオープン。

2017年 利用者総数が200家庭以上となり、新拠点へ移行。
↳ 逗子、戸塚にて認可保育園を開園。2020年・2021年には認可保育園ララランド
2021年 井土ヶ谷、ララランド大倉山、企業主導型保育園も展開。

2022年 横浜市戸塚区に1号店となるアトリエGiftを開所定員10名の事業所で、わずか4ヵ月で30名超の児童を集客。2事業所目となるアトリエGift Littleを開所。
さらなる事業所展開を目指して活動が続けている。

HISTORY



株式会社LaLaLand 代表取締役 井上芙美氏に 聞いた成功の秘訣

特別インタビューについて

インタビュー

株式会社船井総合研究所
子育て支援部 リーダー 藤光 孝法

保育業界から障がい児支援の領域へと進出し、横浜市を中心に児童発達支援・放課後等デイサービス事業を展開されている株式会社LaLaLand。どのように障がい福祉事業と出会い、立ち上げ、成功に導かれたのでしょうか？今回は、代表取締役の井上芙美氏を特別ゲストとしてお招きし、インタビューを行いました。



当時抱えていた課題

藤光：児童発達支援・放課後等デイサービスをご存じになる前、保育事業を運営される中で、なにか具体的な課題があったのでしょうか？

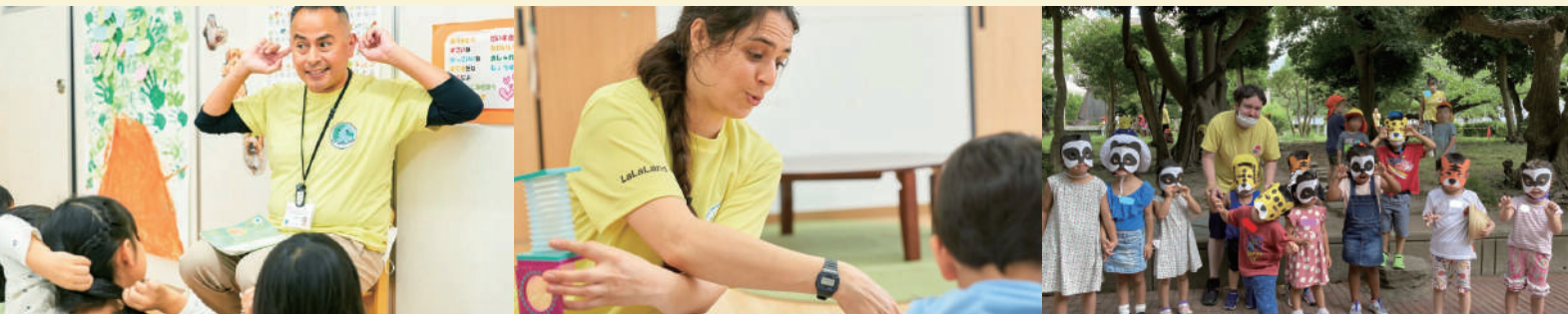
井上氏：認可保育園、認可外保育園共に、現場からグレーゾーンの子どものための対応の悩みを聞くことが多かったのです。クラス運営がうまくいかない、大好きなクラスの子どものうちでやはり集団について来られない子がいて、保育者も心を痛めていることが多かったです。ポジティブな課題解決が必要だと当時感じていました。



児童発達支援・放課後等デイサービスとの出会い

藤光：児童発達支援・放課後等デイサービスについては、どのようなきっかけでご存じになりましたか？

井上氏：そのような課題を感じていたところ、放課後等デイサービス開設のセミナーのお知らせが届くようになり、近隣に施設が多く出来始めました。それに、運営する認可保育園で、療育手帳を持った子どもたちが通ってくれていることもありました。インターナショナルスクールに通っている外国人の子どもの多くが、何らかの**療育サービスを当たり前のように受けていて、隠すこともなく身近なサポートとして利用**しているのを見てきたので、そのうち**日本でもそういう時代が来る**のではないかと考えていました。



療育内容について心がけたこと

藤光：そうだったのですね。とはいえ、初めて取り組まれる事業です。サービス内容、いわゆる「療育内容」を作るのは大変だったのではないかと思います。療育内容どのようにして作られたのでしょうか？



井上氏：そうですね。初めてでしたので時間は掛かりましたが、保育事業を運営していた頃からグループ全体で大切にしていた、『意思』や『個性』を大切にするコンセプトを療育にも取り入れました。一人ひとりの特性・個性を大切にすることは既存の児童発達支援・放課後等デイ事業者も皆取り組んでいる内容なので、差別化を図るために、療育内容に**英語を導入**しました。グループ全体でも外国人との交流や英語を導入していますが、一貫して、**英語教室・英会話教室で習う英語とは一線を画す**ように心がけています。

藤光：具体的にどのような点が**一線を画するポイント**なのでしょうか？

井上氏：**子どもたちには、大人にはない特別な能力が備わっていて**、大人のようにわからないと前に進めないなんてことはないんです。わからなくても**頭の中にある無限大の想像力を駆使**して、言葉をつないでいき、無意識でつないだ言葉は、子どもたちの心のなかに残り、言葉という力になるという信念があり、**より自然に英語に触れ合える**ようにしています。療育のプログラムに外国人の先生と一緒に取り組むことで、**英語やグローバルマインドを身につけていける**ようにしています。

藤光：英語を全てを理解し、使いこなせるようになるということだけをゴールとせず、子どもだからこそ持っている感性を活かすことで、より自然に英語に親しめる環境作りを行われているということですね。

■ 施設でのプログラム



事業開始後の様子

井上氏：**英語や外国人の先生との交流は、保護者からものすごく反響があります**。また、体験活動も好評。考え方に共鳴してくれる利用者、スタッフもすごく多い。グループの保育園にも相談を受けるために回ったり、困っていることがあれば助けられるような支援も導入しており、**既存の園からの評判も良い**ですね。**定員10名の施設ですが、利用者数はすでに30名を超えていて、キャンセル待ちも出てきています**。

業界への想い

井上氏：海外では、「障がい」のことを「特性」、その人の個性と捉えてもっと大らかに**過ごせている**ように感じます。たくさんの方が何らかの療育をもっと身近に、気負いなく、当たり前のように受けられる社会になるといいなと感じています。英語教室や英会話教室で行う英語とは違うアプローチ方法を取り入れていると表現しましたが、「勉強」というよりも、**英語や外国人、世界が身近に感じられるような方法をしっかり定着**させていきたいと思います。

藤光：障がいのある方は、学生のうちに十分なトレーニングを積めないまま大人になってしまい、大幅に制限されてしまうことが多いです。**幼いうちから英語を身近に感じられたら**、たとえ必ずしも英語を使うような職に就かずとも、**将来的にも役立つ大きな武器を手にする**ことにもなりますね。

今後の事業展開

井上氏: エリアを絞り、放課後デイサービス、児童発達支援を広げていきます。すべての子どもたちが幸せにならなければ意味がないと考えているので、自園やグループ内だけではなく、近隣や他園の支援になるようなこともしていきたい。英語や体験事業などをはじめ、グローバル教育や人材に関わる事業も展開し、子どもたちの選択肢を広げてたり、人種や言葉をはじめいろいろな違いがあっても共に喜び、共に成長していく場所をつくっていききたいですね。



いかがでしたでしょうか?株式会社LaLaLandは、さまざまな紆余曲折を経ながらも独自の療育を追求された結果、**定員10名のところたった4ヵ月で契約者30名を達成**されました。キャンセル待ち多数の施設を作り上げ、さらに展開を進められています。ここまでお読みいただいた事業者の皆様も、様々な立場の方がいらっしゃると思いますが、どのような場合においても、地域でお困りの児童の方に向けた事業を展開されるうえで成功していただきたい一心でご紹介をさせていただきました。

園の運営ノウハウだけでは不十分!

新規参入するうえで、確実に集客するための「商品」を作ることは、増加の一途を辿る児童発達支援・放課後等デイサービス事業で成功するために必要不可欠です。しかし残念ながら、障がいについての研究と対応策が日夜進められており、他の事業者も日々療育の研鑽を重ねているため、**これまで皆様が運営されてきた保育園・幼稚園の運営ノウハウをそのまま当てはめるだけでは通用しません**。保育園・幼稚園の運営で培った知識や経験は確かに貴重な財産ですが、障がいを持つお子様への支援には、より専門的で個別化されたアプローチが求められるため、既存のノウハウだけではカバーしきれない領域があるのです。

明確に通用する療育内容の開発には、どのくらいの時間が掛かるのでしょうか?これには場合によって、1年以上の期間を要します。一朝一夕で効果的な療育プログラムを確立することは困難であり、専門家の意見を取り入れ、試行錯誤を繰り返しながら、エビデンスに基づいたプログラムを構築していく必要があります。しかし、無尽蔵に時間と資金があるわけではないですから、ここまで時間を掛けてしまっは、たちまち運営が立ちいかなくなります。限られた時間の中で、いかに効率的かつ効果的に「商品」を開発し、提供できるかが成功の鍵となるのです。



「新規参入を考えているが、時期や内容は未定」、または「既存事業所の集客力をUPさせたい」という事業者の皆様へ

法人個別の集中研修で、児童発達支援・放課後等デイサービス運営に必要な「専門療育」を導入できるチャンス

「他と差別化できる、商品力のあるサービス内容」を手にする方法その答えは、**数百に及ぶコンサルティング事例と成功モデルの掛け合わせにあります**

児童発達支援・放課後等デイサービスの業界には、体操教室や宿題請負のようなスタイルの療育が増えてきております。しかし実際には、将来の自立に役立つ内容とは必ずしも言い難く、競合も増加しているため、明確な差別化にもつながりにくいのが現実です。船井総合研究所では、今回ご紹介した株式会社LaLaLandの療育モデルをはじめとして、「運動学習特化型モデル」や「体操モデル」、「就労準備型モデル」など、さまざまな療育モデルの研修先をご用意しております。私達はこれまで数百に及ぶ児童発達支援・放課後等デイサービスの立ち上げ・活性化の経験を持ち、多くの成功事例と失敗事例を蓄積してまいりました。

株式会社LaLaLandが努力の末に開発されたような療育内容を研修で体得いただいたのち、集客施策・人材育成・運営施策を掛け合わせることで、より盤石な事業運営につなげることが出来るでしょう。「一体何から着手すればよいのか?」「うちの法人には一体何が向いているのか」本セミナーでは、ご参加いただいた方に限定で「無料経営相談」を承っております。このような疑問をお持ちの方はぜひ、無料経営相談をご活用いただければと思います。

最後にコンサルタントから皆様へ

株式会社船井総合研究所 子育て支援部 リーダー 藤光 孝法



ここまでお読みいただきありがとうございました。このレポートでは、株式会社LaLaLandの児童発達支援・放課後等デイサービス展開事例を紹介させていただきました。皆様のような意欲のある事業者であれば、すぐに実現できるものばかりです。これまでに多くの障がい福祉事業者のコンサルティングに関わって参りましたが、サービスの差別化やコンセプト作りに悩まれている方が非常に多いのが現状です。最短で成功するためには、力を入れるべきポイントに専念して、スピード感をもって結果を出すことです。そうすればサービス内容の構築、早期黒字化、そしてスタッフの育成に至るまで、早期に達成することができます。児童発達支援・放課後等デイサービスの展開は、保護者および関係者の望みであり、障がいのあるお子様の将来的な自立へとつなげるために必要不可欠です。今回のセミナーでは「児童発達支援・放課後等デイサービスの成功」を実現するための方法をお伝えします。皆様より少し先に事業展開をし、順調に業績アップしているゲスト講師をお招きし、たった約3時間で事業展開のポイントが分かるようにセミナープログラムを構成しております。一見の価値があることは間違いありません。

無料経営相談は、本セミナーにご参加いただいた方限定の特典になります。
セミナーをお聞きになり、ぜひご検討ください!